

三つの経済主体

本日は、令和 4 年 4 月入学者選抜試験の実施日です。皆さんも昨年、一昨年に受検していますが、その時のことを覚えていますか。きっと、ものすごく緊張していたのではないのでしょうか。この 1 年で成長した力試しをしてみてください。今年度の入試問題は東京都教育委員会のホームページで今後公開されます。得意な一科目で良いので力試しをしてみてください。皆さんが社会に出る際、一般常識として問われることもあると思います。



さて、先週に引き続き経済のことをお話します。経済主体（主役）は、「家計」「企業」「政府」の三つであり、その三つの間で「人」「物（サービス）」「お金」が動くことを経済といいます。



例えば、「家計」は「企業」に労働力を提供し、代わりに賃金・給料等を得ます。逆に、「企業」から商品・サービスを得るために代金を支払っています。「家計」は「政府」に税金を納め、公共サービスを受けています。当然、荒工の先生たちのような公務員は労働力を提供し給料を得ています。「政府」は「企業」からも税金を徴収し、公共サービスを提供したり、公共財を発注し代金を支払ったりしています。

三つの中でも、特に「政府」には、経済を安定させるという大切な役割があります。例えば、不景気の際は、仕事がなくなり、社会の中でお金が使われなくなります。そこで、政府がお金を出して社会に役立つ仕事（公共事業）を作ったり、税金を減らして、社会に流通するお金の量を増やしたりします。

では、「家計」が収める税金にはどのようなものがあるか調べてみてください。皆さんが社会に出るために必要な知識です。

ぶらり、あらこう散歩

【全日】情報は、その切り取り方で印象が変わる。だから、データを読み取る時には「対象、期間、発信元」を見極めることが大切と説明する三浦先生。ICTを活用し、板書を手元のスマホに映しながら「酸と塩基」を説明する安次嶺先生。お二人とも、授業の「ねらい」と本時の「めあて」を明確にした良い授業でした。他校の先生方にも引けを取らない授業力です！



【定時】ハローワークから講師を招いたキャリア教育を実施しました。正規雇用とフリーアルバイトの違いについて、生徒たちから、フリーターは「病気の時に困る」「貯蓄がしにくい」などのほか、「時間的制約が少ない」「好きなことを優先できる」などの肯定的な意見も出ました。しかし、長期的なライフプランを考えることを通して、正規雇用の有用性を感じ得ていました。

社会に出るための準備！荒工生！

「未来を創る！彩る！荒川工業」